

III. 貿易大学(ハノイ)への教員派遣事業

1. 派遣教員、奈良女子大学研修生

派遣教員	鈴木 康史	奈良女子大学研究院人文科学系人間科学領域 准教授
------	-------	--------------------------

2. 派遣期間および現地での活動

12月4日(木) 関空発ーハノイ着

12月5日(金) 授業の打ち合わせ

12月6日(土)～12月7日(日) 講義

12月8日(月) ハノイの諸博物館、資料館にて研究資料収集

12月9日(火) ハノイ発ー関空着(12月10日早朝)

3. 事業の概要と評価

12月6日、7日を使って、鈴木がレジюмеや映像資料などを使い講義を行った。

講義内容については、参考資料に掲載した配布レジюмеをご参照いただきたい。これ以外に、資料として、実際に詩やマンガをプリントして持参し配布すると同時に、パワーポイントでも見せて授業を行った。

貿易大学のクラスは、特別授業という形で、さまざまな専門の学生たちが申し込みをして聴講するという形であったようだ。講義自体の内容に関しては、私自身が5年目であるということで、特に問題ないものであったと思うが、上記のようなクラス編成であったため、聴講学生たちの日本語能力にばらつきがあり、本年度は日本語を習い始めて半年程度の初級者がクラスにいたので、そのレベルの学生には少し理解が難しかったようである。日本語能力の高い学生による同時通訳もお願いしながらの授業であったが、それでも追いつかないところがあった。

特にマンガの授業の場合は、日本語能力だけではなく、こうしたマンガを実際に知っているか、さらには読んでいるかいないかでその理解が大きく変わることとなる。初級の学生たちにとっては日本語能力もさることながら、日本語や日本文化の専門の学生ではないこともあいまって、こうした分野への知識不足が難しさを倍加させていたようであった。

そのような情報が事前にわかっていたら、もう少し教材を工夫することもできたのであるが、今回はベトナムに行ってから5日の打ち合わせ時に判明したことであったのでどうしようもなく、一部の受講生にはかなり難度が高かったようである。ただし、彼らに感想を聞くと、難しかったけれども見たことのマンガや詩をたくさん知ることができたので

面白かったと回答してくれたことは付記しておきたい。

また、12月の第一週の日曜日の午前中はベトナムで日本語能力検定試験が行われる日程であり、その時間は多くの学生が抜けることとなる。先方からの要請でこの日程になるということもあるのであるが、多くの学生が抜けることもあり、やはり少し考慮した方が良いのではないかと感じる場所である。



参考資料

配布レジュメ

ハノイ貿易大学 2014年 集中講義

テーマ1 戦後マンガ文化論 ～手塚治虫、藤子不二雄を中心に

なぜ日本のマンガは「大人」の読み物になったのか？

テーマ2 日本の詩、名文 ～音で聴く日本語、朗読する日本語、歌う日本語

さまざまな詩や文章を読んだり聞いたりして覚えてください

12月6日 テーマ1：戦後マンガ文化論 マンガと「戦後」という時代

①この授業で明らかにすること：日本マンガはなぜ大人も読むのか？

日本のマンガは大人も読む

ほかのほとんどの国では、大人は読まない なぜ？

一般に、マンガとは?? = こども向け、明るく、楽しく、ハッピーエンド
主人公は「成長」しない

日本のマンガは = 深いテーマ 人生とは？ 家族とは？ **悲劇も**
友情と努力/挫折と成長/愛と憎しみ/生と死/悲しみと喜びを経て
主人公が「成長」する

②手塚治虫以前のアニメ・漫画

主人公＝傷つかない身体、成長しない身体、生身の身体を持たない

「喜劇」「コメディ」「ギャグ」／「ヒーロー」による勧善懲悪

時間も流れない Timeless Wonderland

ディズニー映画など

③手塚治虫と「傷つく身体」 第二次世界大戦との関わり

手塚治虫が発見したものとは

「傷つく身体」＝「生身の身体」＝「成長する身体」

「生身なのに」「成長できない身体」or

「生身ではないから」「成長できない身体」 を描けば「悲劇」になる

手塚治虫は、戦争の体験から、本来楽しいはずのマンガの世界に悲劇を持ち込んだ

④手塚治虫以降の日本マンガ（以下の梶原、井上参照）

人が成長するとはどのような意味があるのか？というテーマ

傷つく身体、成長する身体、生身の身体で、それを描く

時間が流れ、成長する主人公 Bildungsroman building + roman

現実の世界で人は悩み、苦しむ。それを乗り越えて成長する主人公を描く

⑤藤子不二雄（ふじこふじお）とのび太の成長

手塚の弟子である藤子不二雄の『ドラえもん』

Timeless Wonderland を描いているが、実は、傷つき成長するのび太も描いている

「さようならドラえもん」

⑥手塚の「傷つく身体」を受けついだのが 梶原一騎（かじわらいっき）

「生身の身体」が「傷つき」ながら「成長する」が、最後に倒れてしまう

「成長できない」悲劇 スポーツマンガに「死」が登場する

⑦スポーツ漫画を完成させたのが 井上雄彦（いのうえたけひこ）

「生身の身体」が「傷つき」ながら「成長する」物語 人は死なない

われわれの日常生活を描く リアリズム Realism の追求 悲劇から離れる

『スラムダンク』『バカボン』『リアル』

⑧宮崎駿（みやざきはやお）（スタジオジブリ）のアニメ

『ルパンⅢ世 カリオストロの城』1979 次元 五右衛門 峰不二子

死なないルパン（傷つく身体は持っているが）

『もののけ姫』1997 成長する主人公たち

傷つくアシタカと動物たち

『風立ちぬ』2013 大人のためのアニメ

傷つけない主人公堀越次郎と死にゆく里見菜穂子や戦死者たち

12月7日 テーマ2 日本の詩・名文

①原発事故と詩 福島詩人、和合亮一（わごうりょういち）の詩と朗読

2011. 3. 11 東日本大震災と原発事故

福島市で被災 家族を避難させた後、一人福島に

Twitter のつぶやきが注目を集め、『詩の礫』に。

「放射能が降っています。静かな夜です。」

「福島をあきらめない」
「福島に生きる 福島を生きる」
「私は作品を修羅のように書きたいと思います」
現在日本で注目されている詩人

②日本の詩と名文 斎藤孝『声に出して読みたい日本語』ほかより

『平家物語』 『百人一首』
鴨長明『方丈記』
松尾芭蕉『おくのほそ道』
小林一茶の俳句
正岡子規の俳句、短歌
夏目漱石『草枕』『我輩は猫である』ほか
宮沢賢治『アメニモマケズ』
三好達治『雪』
谷川俊太郎『生きる』
おまけ・・・早口言葉

③近代日本の童謡 大正時代を中心に

詩人 北原白秋 野口雨情 西條八十 作曲家 中山晋平

北原白秋「ゆりかごの歌」「あわて床屋」「からたちの花」「まちぼうけ」「赤い鳥小鳥」
「アメフリ」「砂山」
野口雨情「こがねむし」「しゃぼん玉」「あの町この町」「雨降りお月さん」「七つの子」
「証城寺の狸囃子」「赤い靴」「うさぎのダンス」
西條八十「かなりや」「鞠と殿様」「肩たたき」
その他 「赤とんぼ」「月の砂漠」「里の秋」「夕焼け小焼け」など

美しい日本語の響きと、日本語の抑揚に合わせたメロディ
大正期の児童雑誌『赤い鳥』などに発表され、日本人の愛唱歌になった